

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成 30 年 5 月 29 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 愛知県一宮市新生 4－1－7	
氏 名 中野建設株式会社	
代表取締役 小野 正之	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0586-45-4351	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	中野建設株式会社
事業場の所在 地	愛知県一宮市新生 4－1－7
計画期 間	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種 類	06 総合工事業
②事業の規 模	元請完成工事高 1、9 5 0 万円
③従業員 数	3 0 名

④産業廃棄物の一連の処理の工程	旧建築物解体：がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石、再生合材として再資源化 木くず→再生処理業者に委託して、チップとして再資源化 混合物→中間処理業者が選別し、再生出来るものは再資源化して、不可能なものは、最終処分業者に委託して、埋立処分 基礎工事：汚泥→中間処理業者に委託して、脱水後、埋立処分 建設工事：がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石、再生合材として再資源化
-----------------	---

（日本工業規格 A列4番）

（第2面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社 管理責任者 工事部（廃棄物総括責任者（工事部長）） 各現場担当者（廃棄物担当者）			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排出 量	2119.79 t	t
	（これまでに実施した取組） 混合物による処分でなく、選別しての産業廃棄物の処分に心がけました。		

	②計画	【目標】 <table> <tr> <td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙</td><td></td></tr> <tr> <td>排出 量</td><td>2000.00 t</td><td>t</td></tr> </table> (今後実施する予定の取組) 排出量は工事状況に左右されやすく計画設定が難しいため、分別に心がける。	産業廃棄物の種類	別紙		排出 量	2000.00 t	t
産業廃棄物の種類	別紙							
排出 量	2000.00 t	t						
産業廃棄物の分別に関する事項								
	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現場の状況に於いて分別パレットが手配できない場合、混合物が多くなってしまう。						
	②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建築の解体の場合、分別して処分する。						

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t

		(今後実施する予定の取組) 特になし	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 減量の中間処理については、委託処理により実施		

(第 4 面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t		t
	(今後実施する予定の取組)			
	予定無し			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
1 現状	【前年度（平成 29 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙		
	全処理委託 量	2102.56 t		t
	優良認定処理業者へ の 処理委託 量	t		t
	再生利用業者へ の 処理委託 量	t		t
	認定熱回収業者へ の処理委託 量	t		t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
	再生利用業者への委託処理に努め、最終処分量の低減を図る。			

②計画	【目標】
-----	------

		産業廃棄物の種類	別紙	
		全処理委託 量	2000.00 t	t
		優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t
		再生利用業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 再生利用業者への委託処理に努め、最終処分量の低減を図る。		
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 （処分先明細は次頁に記載）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状 【前年度（平成 29年度）実績】

産業廃棄物の種類	コンクリート	アスコンがら	その他がれき	ガラス・陶磁器	廃プラスチック
排出量（t）	1101.56	0.00	13.00	8.00	4.96

再生利用(t)

産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有	混合廃棄物	建設汚泥	紙くず
排出量（t）	11.76	0.00	125.45	785.40	2.94

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
排出量（t）	41.62	1.02	24.08

②計画 【目標】

産業廃棄物の種類	コンクリート	アスコンがら	その他がれき	ガラス・陶磁器	廃プラスチック
排出量（t）	1000.00	15.00	5.00	0.00	0.00

産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有	混合廃棄物	建設汚泥	紙くず
排出量（t）	5.00	0.00	150.00	800.00	5.00

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	廃石膏ボード
排出量（t）	10.00	0.00	10.00

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1 現状 【前年度（平成 29年度）実績】

産業廃棄物の種類		コンクリート	アスコンがら	その他がれき	ガラス・陶磁器	廃プラスチック
全処理委託量（t）		1101.56	0.00	13.00	8.00	4.96
	優良認定処理業者への処理委託量			13.00	8.00	4.96
	再生利用業者への処理委託量	1101.56	0.00			
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					

産業廃棄物の種類		金属くず	石綿含有	混合廃棄物	建設汚泥	紙くず
全処理委託量（t）		11.76	0.00	125.45	785.40	2.94
	優良認定処理業者への処理委託量		0.00	125.45	785.40	
	再生利用業者への処理委託量	11.76				2.94
	認定熱回収業者への処理委託量					

	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量					
--	-----------------------------------	--	--	--	--	--

産業廃棄物の種 類		木くず	繊維くず	廃石膏ボー ト [※]
全処理委託量（t）		41.62	1.02	24.08
	優良認定処理業者への 処理委託量			
	再生利用業者への処理 委託量	41.62	1.02	24.08
	認定熱回収業者への処 理委託量			
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委託量			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

2 計画

【前年度（平成 29年度）計画】

産業廃棄物の種 類		コンクリート	アスコンがら	その他がれ き	ガラス・陶磁器	廃プラスチック
全処理委託量（t）		1000.00	15.00	5.00	0.00	0.00
	優良認定処理業者へ の処理委託量			5.00	0.00	0.00
	再生利用業者への処 理委託量	1000.00	15.00			
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量					

産業廃棄物の種類	金属くず	石綿含有	混合廃棄物	建設汚泥	紙くず [※]
----------	------	------	-------	------	------------------

全処理委託量（t）		5.00	0.00	150.00	800.00	5.00
	優良認定処理業者への処理委託量		0.00	150.00	800.00	
	再生利用業者への処理委託量	5.00				5.00
	認定熱回収業者への処理委託量					
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					

産業廃棄物の種類		木くず	繊維くず	廃石膏ボード
全処理委託量（t）		10.00	0.00	10.00
	優良認定処理業者への処理委託量	10.00		
	再生利用業者への処理委託量		0.00	10.00
	認定熱回収業者への処理委託量			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			